

Rotary

国際  
R  
I

ジェニファー・ジョーンズ会長

2022-2023年度  
会長 西村 敏信  
幹事 茶谷 勝

## 出席報告

本日出席	13人
欠席	12人
出席率	61.90%
第3312回のメイクアップ	2人
第3312回の出席率	71.42%→80.95%

## 会長あいさつ

西村敏信会長



小学生英語スピーチコンテストで、会長あいさつの全センテンスを英語で話すため、日本語を英語に訳す準備をしている。通勤バスの途上、毎朝6時45分からラジオ英会話を聴いて発音にも力を入れている。語学の勉強は楽しい。

高齢者の教養や教育とは何か。ある方がいいわく。「教養は今日用事がある」「教育というのは今日行く所がある」ということだそう。深く考えさせられた。

## Happy Birthday



### 谷川文紹君(14日)

先日、5年ぶりに免許を更新してきた。次回の更新時は70歳を超え、高齢者講習会と技能試験が課せられるそう。他人ごとではないと思って帰ってきた。



### 岩崎夫人(19日)

妻は私と同級生で49歳になった。結婚してはや25年目になる。長い間一緒に過ごしているが、お互いいたわって、けんかしないようにしたい。



### 川岸夫人(25日)

私が昭和27年1月、妻が7月生まれで半年違いの夫婦だ。結婚して48年になる。北日本新聞の情報誌「まんまる」から富山市の市民ランナー、田中寿美子さん(69)の言葉が励みになるので、紹介する。「まだまだ青い。80歳から大人」。



### 愛宕彰君(30日)

30日で68歳。高校の陸上部の同級生で不死身の男がいる。脳溢血で3回倒れても復帰した。ロータリーでは西村さん、青山さんと同年だ。私も頑張りたい。

## 卓話「ロータリー奉仕デー」



### 直前会長 坪井孝博君

卓話は直前会長の坪井孝博君が「ロータリー奉仕デー」の題で担当した。先月、魚津西ロータリークラブと合同で企画し、高校生らと取り組んだ海岸清掃を振り返った。勤務する歯科医院で実施している食生活アンケートに当会員にも答えてもらい、虫歯予防の注意点を示した。

魚津工業と新川の両高校の生徒と協力して海岸清掃を行った。市内の団体や事業所も加わり、計133人参加した。高校生には活動の背景や目的は何か、回収後どのように処理するか、活動を今後どう生かすかなど留意点を示して、意識の向上や自主性を促した。さらに活動後、アンケートも実施して次回の活動に生かしたい。

食生活の改善は、人それぞれであり、どうやって直すか、難しいのが現状だ。食後の口直しなど毎日の習慣に組み入れると、やめにくくなる。アクエリアスやポカリスエットなどスポーツドリンクは経口補水液に変えた方がいい。飴は即、やめてほしい。朝食に菓子パンやコーンフレーク、シリアルも避けるべきだ。ご飯やおにぎりに味噌汁をお勧めする。



## 委員会報告

青山英語スピコン委員長 7名が参加予定。アトラクションの講演は、高円宮杯全日本中学生英語弁論大会出場者で慶応義塾大学3年生の石崎愛菜さん(魚津市出身)に決定した。演題は「宮杯ってなんだろう」

## 出席報告

本日出席	14人
欠席	11人
出席率	66.66%
第3313回のメイクアップ	1人
第3313回の出席率	71.42%→76.19%

## 会長あいさつ

西村敏信会長



先週、上京して国の機関を訪ねて回った。課長さんがマスクを外して、対応していた。今日の多くの感染者につながっているのであれば、緊張感を持ってほしいと思う。帰社してから抗原検査を受けたが、結果が出るまでの15分間は長く感じた。

もし、陽性だったらどうしようと思ったが、幸い陰性だった。日本全国、安全な所はない。皆さん、ご自身で気をつけてほしい。いよいよ8月だ。21日は小学生英語スピーチコンテストがある。子どもたちが楽しんで、成果を発揮してくれたらと願う。私も英語の会長あいさつを準備している。本日は三由さんが出席してくれた。感謝申し上げます。若い人がいるって素晴らしい。我々、おじさんたちと親しく交流して互いに学びましょう。

## ゲスト・ビジター

魚津西ロータリークラブ  
慶野達二(けいの・たつじ)氏



## ニコボックス報告

慶野達二様 ビジター会費  
西村敏信君 慶野様、本日はありがとうございます

## 委員会報告

### 青山小学生英語スピーチコンテスト委員長

参加者は11人。内訳は第2回の参加者5人。  
魚津4人、黒部3人、滑川3人となっている。

### 小池公共イメージ常任委員長

ロータリーの友8月号からお勧めを紹介する。  
巻頭特集「会員増強～多様性のあるクラブづくりへ女性会員を増強しよう」。女性会員に立ちの壁など意見を掲載しており、現状の把握と対策に役立つ。

## 卓話「歴史ある魚津RCの存続危機」

### ガバナー補佐 川岸芳雄君



ガバナー補佐の川岸芳雄君が「歴史ある魚津RCの存続危機」の題で卓話を担当した。ロータリーに関するネット検索によると、長年、甚大な会員減少が続き、20人以下になるクラブを「絶滅クラブ」と呼ぶという。2013年に第1グループ内で会員数トップを誇っていた魚津RCは直近では16人減の24人。「絶滅クラブにならぬよう、早期に複数新入会員獲得のための緊急対策を講じるべき」と訴えた。

第1グループの会員の変遷を2013年と22年で比較した。魚津は40人から16人減の24人で1位から5位に転落した。1位は2クラブある。魚津西は増減なしの26人、黒部中央が6人増の26人。

地区全体で103人減った。第1グループ全体では22人減であるので、魚津RCの16減がいかにか足を引っ張っているか分かる。

会員のなり手確保に向けた環境づくりが大切だ。例えば定款に反しない範囲で、クラブの細則を最大解釈できる人材を確保する必要がある。弁護士、会計士、司法書士、行政書士らが該当し、魚津西にはそういった人材がたくさんいるので、会員増強に寄与している。黒川ガバナーと大橋ガバナーノミニーは第1グループの会員増強の一環で滑川ロータリーの復活を願っている。衛星クラブがいいのか、助言をいただきたい。

## 地域環境活動

### 鴨川一斉清掃



鴨川一斉清掃に参加した(左から)川岸君、川本君、茶谷君、稲盛君と村椿魚津市長＝31日